

平成29年度 年間指導計画 0歳児 浜岡幼保園

		園長	副園長	主幹	担任		
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の生活リズムを大切に、生理的欲求を満たし、安心感の中で過ごす。 ●優しく語り掛けたり触れ合ったりを大切に、信頼関係を築いていく。 ●身の回りに対する興味や好奇心を育て、個人差に留意しながら離乳の完成や歩行、発語への意欲を育む。 				一年間の保育に対する自己評価		
期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)		3期(9月～12月)	4期(1月～3月)		
ねらい(養護・保育)	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の生活リズムを大切に、無理なく新しい環境に慣れるようにする。 ●保育教諭等にあやされたり、言葉を掛けられることで保育教諭等との信頼関係を築く。 		<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の体調を把握し、快適に過ごせるよう、夏の保健衛生に留意しながら、沐浴や水遊びを行う。 ●保育教諭等に欲求を受け止めてもらい、かかわってもらいで安心感を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等や他児とのかかわりを喜んだり、関心が持てるよう安心できる雰囲気をつくる。 ●季候や体調に気を付け、戸外遊びや散歩に出かけ自然に触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●安定した環境の中で、探索活動を通して、いろいろな人やものに触れながら好きな遊びを楽しむ。 ●友達と少しずつかかわり、自分でしようとする気持ちを保育教諭等に受け止めてもらい、言葉や動作で表現する。 	
園児の姿	57日～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～12か月未満	1歳～1歳3か月未満	1歳3か月～2歳未満	
	<ul style="list-style-type: none"> ●短い眠りを繰り返し、少しずつ目覚めている時間が長くなる。 ●空腹時やおむつが汚れたときに泣いて不快を知らせ、満たされると泣き止む。 ●あやされるとほほ笑んだり、喃語を発したりする。 ●目の前のものを追視したり、音のするほうを見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●睡眠と目覚めがはっきりとてくる。 ●首がすわり、腹ばいにするとき頭を持ち上げる。 ●手に触れたものを握ったり、口に運んで確かめたりする。 ●手足の動きが活発になり寝返りをする。 ●腹ばいで方向転換や後ずさりをする。 ●寝返りができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●離乳食を食べ始める(初期食)。 ●舌と上あごを使いもぐもぐし、飲み込むことができる(中期食)。 ●いろいろな味や舌触りに慣れる。 ●睡眠が午前午後2回になる。 ●手で玩具を持ち替える。 ●人見知りが始まり、後追いをする。 ●お座りをしたり、腹ばいで前に進むようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食べることに意欲的になり、スプーンを持ちながら、手づかみで食べる。舌が前後、左右に動き、歯茎ですりつぶして食べることができるようになる(後期食)。 ●コップから飲めるようになる。 ●だいたい午後1回の睡眠になる。 ●指差しが始まり、思いを伝えようとする。 ●はいはいからお座り、つかまり立ち、つたい歩きをする。 ●音楽や歌に合わせて体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歯茎、乳歯を使って食べ物を噛んで食べる(幼児食)。 ●いろいろなものが食べられるようになる。 ●オマルに座ることに慣れる。 ●睡眠時間が一定になる。 ●つまむ、たく、引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。 ●つたい歩きから一人歩きができるようになり、行動範囲が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●こぼしながらもスプーン・フォークを使って一人で食べる。 ●オマルやトイレに慣れ、タイミングが合えば排泄できるが増える。 ●簡単な衣服の着脱を自分でやろうとすることが増える。 ●他の子どもに関心を示し、持っているものを欲しがったり触ったりする。 ●感情の表出が豊かになり、自分の欲求を通そうとする。 	
■養護(生命の保持・情緒の安定) ★教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の生活リズムに合わせて、安心して過ごせるようにする。 ■不快を感じる状態を常に確認し、衛生面に配慮する。 ★音の出る玩具や柔らかい素材の玩具に興味を持ち触れようとする。 ★語り掛ける大人を注視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■腹ばいなどで移動できるようになるので、危険のないよう見守る。 ■口にものを運ぶので、飲み込みや衛生面に十分注意する。 ★周りの環境に興味を持ち、手を出して自らかかわろうとする。 ★体を動かしたり、動かしてもらったりすることを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の発達の状態に合わせて、離乳食の開始時期や内容を検討する。 ■睡眠のリズムの変化に対応して、活動時間や活動内容を調整する。 ★手に触れたものをつかんだり、落としたりして遊ぶことを楽しむ。 ★身近な保育教諭等に親しみを強く持つと同時に、少しずつ他の大人にも関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人に合わせて、スプーンや手づかみで食べることを経験できるようにする。 ■動きが活発になると危険も増すことを想定し、ものの配置に配慮する。 ★興味を持ったものを指差し、言葉と一致させようとする。 ★歌や音楽に興味を持ち、リズムに合わせて体を動かして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■食後、口の中を清潔に保つため、個々に合わせて口の中を布でぬぐったり、歯磨きをしたりする。 ★排泄の際、自らオマルに座ろうとする。 ★指先を使った細かな動きができる玩具で遊ぶことを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■スプーン・フォークを使う際、危険な使い方をしないよう指導する。 ■衣服の着脱を自分でしようとする意欲を十分に受け止め、必要に応じて援助する。 ★他者を意識し、かかわろうとする意欲が出てくる。 	
■環境構成 ★援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の生活リズムに応じて、ゆったりとした温かい雰囲気の中で生活できるようにする。 ■音の出る玩具や柔らかい素材の玩具など、成長発達に見合った清潔なものを用意する。 ★授乳やおむつ交換は優しく言葉を掛けながら、心地よさを感じられるようにする。 ★一人一人安心して眠れる静かな環境をつくり、睡眠中の顔色や呼吸をチェックし変化を見逃さない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の発達や健康状態を把握し、安定した心地よい生活ができるようにする。 ■玩具などは常に点検、洗浄、消毒をして清潔を保つ。 ★赤ちゃん体操や触れ合い遊びなどを通して、信頼関係を築くとともに言葉と体の発達を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ■お座りや腹ばいになるなど活動の範囲が広がるに伴い、安全で活動しやすい環境を整える。 ★発達に合った運動遊びができるような言葉掛けをしたり、玩具の位置を工夫し、楽しく遊べるようにする。 ★甘えや不安をその都度受け止め、情緒の安定を図る。 ★離乳食は家庭と連絡を取り合い、無理なく進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■興味や発達に合わせて、子どもの好奇心や探索活動が満たされるように環境を整える。 ★自分で食べようとする意欲を大切に、様々な味や食感に、慣れていけるようにする。 ★子どもの伝えようとする表情や指差し、気持ちを大切に受け止め、共感したり、分かりやすい言葉で語り掛けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■歩くことが楽しくなり行動範囲が広がるので、安全面に十分注意し、伸び伸びと遊べるようにする。 ★排尿間隔を把握し、無理なくオマルに誘って慣れるようにする。 ★スプーンの使い方や食習慣が身に付くように援助し、自分で食べようとする気持ちを大切に育てる。 ★一人一人の思いを受け止め、自己主張ができるようにする。 ★絵本の読み聞かせや歌を通して、発語の意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の遊びや、自分でしたいという欲求が十分に満たされるよう環境を整え、喜びが味わえるようにする。 ★オマルでの排泄に成功したときは十分にほめ、喜びが味わえるようにする。 ★友達とかかわって遊びを楽しめるよう保育教諭等が仲立ちとなり、一緒に遊んだり見守ったりして、子ども同士のかかわりが持てるようにする。 	
子ども・子育ての支援(保護者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ●信頼関係を築き、同じ思いで育んでいけるように、園での様子、家庭での様子を密に伝え合う。 		<ul style="list-style-type: none"> ●連絡帳や登降園時の会話の中で子どもの様子、情報を共有し、子どもの成長を共に喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症にかかりやすくなるため、健康状態について連絡を密に取り合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歩かせることを急がず、はいはいの大切さを知らせる。 ●離乳食の味付けが濃くなっていないかなど、進み具合を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体をたくさん使って遊べるようになったとはいえ、バランスはまだ不安定な時期なので、事故のないように配慮することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一日の生活リズムと自分でしようとする気持ちの芽生えの大切さを知らせ、安定して生活や遊びができるよう連絡を取り合う。
行事	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)		3期(9月～12月)	4期(1月～3月)		
	入園式/身体計測/健康診断/避難訓練/誕生会 保育参加	身体計測/歯科健診/避難訓練/七夕/誕生会 夏祭り		身体計測/健康診断/避難訓練/誕生会 クリスマス会/表現会	身体測定/避難訓練/誕生会/節分/ひな祭り誕生会 お別れ会		

年間指導計画 1歳児 平成29年度 浜岡幼保園

園長	副園長	主幹	担任
----	-----	----	----

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等との安心できる信頼関係、安全な環境の下で「自分でやってみよう」という気持ちを持つ。 ●適切な環境により、運動、言葉を獲得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●探索活動を通して、十分に聞く、見る、触れるなどの経験をし、人やものへの関心を広げる。 ●保育教諭等に援助されながら、基本的生活習慣の基礎が身に付く。 	一年間の保育に対する自己評価	
学期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
ねらい (養護・保育)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境や生活に慣れ、特定の保育教諭等との関係ができて、情緒が安定して、好きな遊びを楽しむ。 ●戸外で春の自然に触れて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●安心した環境の中で身の回りのことに興味を持ち、少しずつ自分でやってみようという気持ちを持つ。 ●砂遊び、水遊びを通していろいろな感触を味わい、同時に心の開放感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等の見守りの下、難しいところは保育教諭等に援助を求めながら、自分でできる喜びや達成感を味わう。 ●紅葉、落ち葉など秋の自然に触れ遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等の仲立ちの下、友達と会話をする楽しさや一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ●寒い季節を元気に過ごす。
園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に戸惑い、登園時など泣く姿が見られる。 ●保育教諭等に少しずつ慣れ、親しみをもち、触れ合い遊びや好きな遊びを見つけて安心して遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムが安定し、一日の保育の流れに沿って保育教諭等と共に生活することができる。 ●歩行が安定し、戸外遊びを喜び、自然物や身近な用具や玩具に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等の言葉を理解し、待つことができる。 ●排尿、排便の時間が、おおむね決まってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りのことを、自分でしようとする。 ●友達と一緒に好きな遊びを見付け、会話を楽しむ。
■養護(生命の保持・情緒の安定) ★教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の発達状況や健康状態を把握し、個々に合わせたかかわり方で安心して過ごせるようにする。 ■子どもの不安や欲求を受け止め、安心感や信頼感を持てるようにする。 ★保育教諭等に援助されながら、食事、睡眠、排泄を自分でしようとする。 ★保育教諭等の見守りの中、自分の好きな遊びを楽しむ。 ★保育教諭等と一緒に戸外で春の自然に触れて遊ぶ。 ★指差しや一語文で発見や要求を伝え、思いが伝わることを喜び、意欲的に伝えようとする。 ★保育教諭等と1対1でわらべうたを楽しんだり、まねをしたりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の行動を把握し、安全面に気を付けた環境をつくる。 ■自分でやってみようとする意欲を認めて、ゆっくりと待ち、見守る。 ★汗などで汚れたときは、清潔にすると気持ちよくなることを知る。 ★保育教諭等のかかわりを楽しみながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ★水、泥、砂などに触れ、夏ならではの遊びを楽しむ。 ★絵本や名称カードで遊び、言葉に触れる。 ★夏ならではの素材を使い、感触や色や形の変化を楽しむ。 ★音楽に合わせて体を動かしたり、指先を使って製作することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■自分でしたい気持ちを受け止め、できないところは援助し、達成感が得られるようにする。 ■生活リズムを大切にしながら、安心して適切な休息や午睡ができるようにする。 ★秋の季節を感じながら、戸外で伸び伸びと体を動かし遊ぶことを楽しむ。 ★一人遊びから平行遊びへ、友達と同じことをして共感し合うなど友達への関心が広がる。 ★散歩や戸外遊びなどを通して、秋の自然に触れ興味を持つ。 ★絵本を見ながら内容や言葉を動作で表し、模倣活動を楽しむ。 ★積み木やブロックなどで様々な形をつくって表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■気温に十分配慮しながら体調管理をし、感染症にかからないようにする。 ■基本的生活習慣の基礎が身に付き、安心感が持てるようにする。 ★走る、登る、飛び降りるなど体を動かす遊びを楽しむ。 ★気の合う友達と平行遊びを楽しむ。 ★簡単な身の回りのことができた喜びを味わう。 ★多語文が増え、保育教諭等や友達と会話を楽しむ。 ★人形の世話をしたり、生活の場面を見立てるなどごっこ遊びや模倣遊びを楽しむ。
■環境構成 ★援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■保育室や園庭の安全に留意し、安心して遊べるようにする。 ■子どもが興味を持てるよう、発達に合ったおもちゃを用意する。 ★個々の発達や生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れていけるようにする。 ★子どもと応答保育を大切にしながら信頼関係を築いていく。 ★不安や甘えなど子どもの気持ちを受容して気持ちの安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■砂遊び、水遊びなどが十分に楽しめるように、安全な環境を整える。 ■様々な遊具に興味を持てるように、子どもの目線で手が届くような遊具の配置を考慮する。 ★活動後は水分補給をしたり、休息を十分にとったり、無理のないように日課を立てていく。 ★友達とのかかわりの中でトラブルが起きたときには、保育教諭等が仲立ちとなり、してはいけないことを伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもが身の回りをきれいにすることを覚えるよう、衛生面や安全性に留意する。 ■秋の自然物を使った遊びや製作などを楽しめるよう、素材を準備する。 ★自我の育ちを見守り、子どもの気持ちを受け止め、尊重しながらも必要に応じて援助していく。 ★自分でしようとする気持ちやできたときなどは、気持ちを認め、自信や達成感を持たせるような言葉掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ごっこ遊びや見立て遊びなど友達とやり取りができるよう、環境や遊具を配置する。 ★友達と一緒に楽しめるような遊びを工夫し、相手の気持ちやかかわり方を知らせていく。 ★子どもの思いを受け止め、言葉を補って、交流を深める手助けをする。 ★生活や遊びを通してルールや順番があることを伝えていく。
子ども・子育ての支援 (保護者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ●連絡帳や送迎時の対話で毎日の様子を伝え、不安や疑問が解消するよう心掛ける。 ●かみつきや引っかき、けがなどは適切に対処し、必ず口頭で説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●暑くなる時期なので水分補給、休息、睡眠の健康管理について知らせていく。 ●感染症にかかりやすい時期なので、家庭との連絡を密に取り合っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育参観などで園での様子を見てもらい、成長の過程を共感し、楽しく子育てができるように援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一年間の子どもたちの成長を知らせ、保護者と共に喜び合い、進級に向けての不安がないように話をする。 ●感染症の症状や流行の状況など情報をこまめに伝える。
行事	入園式・進級式／子どもの日の集い／内科検診／避難訓練／身体測定／誕生会	歯科健診／保育参加・給食試食会／七夕の集い／プール開き／身体計測／避難訓練／夏祭り／誕生会	運動会／総合防災訓練／表現会／クリスマス会／身体計測／誕生会	もちつき大会／お店屋さんごっこ・試食会／節分の集い／ひな祭り誕生会／お別れ会／身体計測／避難訓練／誕生会

年間指導計画 2歳児 平成29年度 浜岡幼保園

		園長	副園長	主幹	担任
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●安全で保衛的な環境の下、安心感を持って過ごす。 ●生活に必要な身の回りのことが自らできるように、基本的な生活習慣を身に付ける。 ●自己主張や欲求を受容・共感されることにより、自己肯定感を育む。 ●活動範囲が広がるとともに、歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能が充実していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●共感や共有する体験を通し、友達とのかかわり方を知っていく。 ●日常の環境を通して、様々な素材の音・色・数・形・手触り・味・香りなどに触れていく。 ●語彙の増加により、言葉でのやりとりを楽しむ。 ●見立て遊び・ごっこ遊びなどを通して、象徴機能を育む。 		一年間の保育に対する自己評価	
学期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)	
ねらい (養護・保育)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に慣れ、安心感を持って生活を送る。 ●保育教諭等や友達との触れ合いを通して、十分に遊びを楽しむ。 ●戸外活動の中で春の自然を体感する。 ●保育教諭等や友達の名前を呼んだり、簡単な言葉で思いを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活が安定し始めることにより、活発に園生活を楽しむ。 ●夏の遊びを十分に楽しみ、自然に親しみ開放的な気分を味わう。 ●製作活動を通して、共感する喜びを知る。 ●興味や関心を持った動きや言葉を模倣して楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等の手助けが徐々に減り、生活しやすいように簡単な身の回りのことは自ら整えることができる。 ●秋の自然に興味・関心を持つ。 ●保育教諭等の仲立ちの下、相手の気持ちや思いに徐々に気付けるようにする。 ●体を動かすことを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣や生活リズムを進級学年を意識したものへと移行していく。 ●大人数での遊びを楽しめるようになり、友達とのかかわりが活発になる。 ●冬の遊びを十分に楽しむとともに、冬の生活の仕方を知る。 ●簡単な数、色、形の違いを理解する。 	
園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな環境に対して喜びや不安を見せつつも、見知った保育教諭等や友達とのかかわり合う姿が見られる。 ●保育教諭等に促されながらも、生活に必要な身の回りのことを自ら行おうとする。また、できないときは知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●2歳児クラスとしての生活リズムが形成されてくることにより、活動範囲に広がりが深まりを見せる。 ●自然に親しみながら友達と一緒に共感し合う姿が見られる。また、夏バネ気味の子もいる。 ●夢中で製作に取り組む子もいれば、途中で飽きがきて保育教諭等に促される子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●好奇心や探究心から行動が活発になり、保育教諭等の手伝いなどを行う子もいる。 ●言葉や表現力が豊かになることにより、遊びや友達との関係が深まり、それとともに思いが伝わらずぶつかり合う姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進級する部屋での活動を喜ぶ子もいれば、新しい部屋に戸惑いを見せる子もいる。 ●集団での遊びを楽しむ中で、ルールへの理解度の違いが見られ、保育教諭等の援助を受ける子もいる。 ●獲得した知識を保育教諭等や友達に知らせたくて、繰り返し話をしようとする姿が見られる。 	
★教育時間 ■教育時間を除いた時間	<ul style="list-style-type: none"> ★できる範囲内の身の回りの始末などを行いながら、生活する上で必要な習慣を身に付ける。 ★春の歌や手遊びを通して、触れ合うことを楽しむ。 ★外気や草花に触れることにより春の自然を感じ取る。 ★食前食後の習慣として、手洗い・挨拶を覚える。 ■家庭的で温かみのある雰囲気の中でゆったりと過ごす。 ■担任の保育教諭や見知った保育教諭等の下で、安心感を持って遊びに打ち込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ★保育教諭等に促されながら快適な夏の生活の仕方を知っていく。 ★水遊びや虫探しなど夏ならではの遊びを通して、自然に興味を持つ。 ★様々な素材に触れ、つくる・見立てる・見せ合う・遊ぶといった体験をする。 ★絵本や紙芝居に興味を持ち楽しむ。 ★咀嚼が身に付くようにする。 ■異年齢児と共に戸外で砂遊びや園庭遊びを楽しむ。 ■発見や驚きを保育教諭等や友達に言葉やしぐさで伝える。 ■保育教諭等に促されながらも、午睡後の始末や帰りの身支度など自ら行えるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★戸外活動では、夏～秋～冬の季節の移り変わりや秋の香りを感じ、自然の豊かさを感じ取る。 ★言葉でのやりとりを楽しみ、会話の中でいろいろな言葉を使おうとする。 ★クレヨンによる描画製作を楽しむ。 ★音楽に合わせて全身をダイナミックに機能させる。 ■苦手な食べ物もひと口でも食べようとする。 ■午睡前後の衣服の着脱や始末を進んでできる。 ■手洗いやうがいなどを丁寧にしようとする。 ■集団で活動する中で、玩具の貸し借りや順番などの約束事を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ★すみれ組の部屋や生活風景を見たり、実際に過ごしてみたりする。 ★集団での遊びの中で簡単なルールを理解する。 ★冬の自然事象を肌で感じ、雪や氷を遊びに取り込み楽しむ。 ★絵の具を使う製作活動やわらべうたなどの中で、色の違いを理解する。 ★はさみによる製作を楽しむ。 ■皿や茶碗を持って、はしを使いこぼさずに食べようとする。 ■自分のものと他人のものとの区別ができる。 ■たくさんの人々とのかかわりの中で、他者への意識を深めていく。 ■自分の伝えたいことを、身振り手振りを交えて言葉で表す。 	
■環境構成 ★援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■自分の身の回りのものが判別・認識できるように、靴箱やロッカーなどに個人用のマークや写真を付ける。 ■コーナー遊びでは、前年度の遊び慣れた玩具や遊びが継続できるように整える。 ★活動においては、個々の健康状態に配慮しながら、徐々に2歳児クラス的生活リズムに導いていく。 ★子ども一人一人が習慣を身に付けられるように、必要があれば個別に根気強く教えていく。 ★お話をする際は、落ち着いた雰囲気の下で子どもの目を見ながら話すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■個々の健康状態と湿度や気温に配慮して、活動と休息のバランスを取るようにする。 ■帽子や水分補給の準備をするとともに、危険箇所がないか戸外の安全面を確認する。 ■絵本や紙芝居は、内容を振り返る時間を設けて、気に入ったシーンやフレーズなどが心に残るようにする。 ★製作物はごっこ遊び・見立て遊びへと展開できるようにする。 ★子どもが自分でできたことは共に喜び、できないことは部分的に援助し、達成感が持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ドングリや紅葉など、秋らしい装飾で部屋を飾り、季節を感じられるようにする。 ■体を動かすことを楽しみ、表現会へとつながるように配慮する。 ■戸外遊びの際は、子どもたちが拾った落ち葉などを製作に使用できるようにバケツを用意しておく。 ★厚着になり過ぎないように気を付ける。 ★友達とのかかわりを見守りつつ、相手の思いや気持ちに気付けるように、言葉が不足しているときは代弁しながら、かかわり方を知らせる。 ★衣服のたたみ方やお弁当箱のハンカチの結び方など、一つ一つ丁寧に確認しながら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■室内の温度・湿度に気を配り快適に過ごせるようにするとともに、室外との寒暖差も感じながら、冬の過ごし方を知る。 ■遊びの中に簡単なルールを設け、それを意識できるように配慮する。 ★次年度のクラス担任へ、子どもの個々の心身の健康状態や特徴を伝える。 ★できたことを十分に認め、喜びを感じられるようにし、次への意欲へつなげていく。 ★保育教諭等の手伝いや日々の活動の中から、数量・色・形などが意識できるように子どもに問いかけたり、子どもの問いに答えたりする。 	
子ども・子育ての支援 (保護者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に対する不安や期待に共感しつつ、子どもの様子を共有し信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●流行の感染症について、症状や予防方法、感染時の園の対応をあらかじめ知らせておく。 ●暑さで疲れが残りがやすい時期なので、早寝・早起き・食事・睡眠といった基本的な生活環境を整えてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣については、子どもができることや自らやろうとしている意欲を共有し喜び合うとともに、家庭でも根気強く自立に向けて協力してもらう。 ●行事では、練習の風景を知らせるとともに、子どもを十分に認めてあげるようお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日々のやりとりの中で、一年間の成長や獲得した心情・意欲・態度を振り返りながら、進級へ向けての期待感が膨らむようにする。また、子ども一人一人の発達課題も共有し、育ちの見通しが立つようにする。 ●手洗いの仕方や感染症の発症状況を知らせる。 	
行事	入園・進級式／保護者面談／歯科健診／内科健診／誕生会／身体測定	プール開き／夏祭り／保育参加／誕生会／身体測定	運動会／クリスマス会／表現会／歯科健診／内科健診／誕生会／身体測定	もちつき大会／節分のついでい／お店屋さんごっこ・給食試食会／卒園式／ひな祭り誕生会／身体測定	

園長	副園長	主幹	担任
----	-----	----	----

平成29年度 浜岡幼保園 年間指導計画 3歳児

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身に付け、自信を持って楽しく園生活を送る。 ●友達とのかかわりを広げ、存分に遊びを楽しむ。 ●身近な環境に関心を持ち、積極的にかかわる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活の中で必要とする言葉を知り、身近な人との言葉のやり取りを楽しむ。 ●自由な表現を楽しみ、豊かな感性を育む。 	一年間の保育に対する自己評価	
学期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●喜んで登園し、友達や保育教諭等に親しみを持つ。 ●一日の生活の流れや、身の回りの始末の仕方を知る。 ●春の自然に触れながら、好きな遊びを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りのことを自分でしようとする。 ●遊びの中で十分に体を動かす楽しさを味わう。 ●友達や保育教諭等と一緒に夏の遊びを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●秋の自然に親しみ、自然物に触れながら遊びを楽しむ。 ●園生活のルールを知り、守りながら過ごす。 ●行事への取り組みを通して充実感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身に付け、自信を持って伸び伸びと活動をする。 ●友達とのかかわりを深め、協同的な遊びを楽しむ。
園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●進級を喜び、生活や遊びに意欲的な園児もいれば、新しい環境になじめず、何事にも不安感を持って過ごす園児もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活の仕方が分かり、自分でできることを進んで行う姿が見られるようになる。 ●友達との存在を強く意識し、一緒に遊ぶことを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友達とのかかわりが多くなる分、トラブルも増えてくる。 ●身の回りの様々な事象に関心を持ち、保育教諭等と一緒に遊びに取り入れて楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分でできることが増え、生活に見通しを持って意欲的に過ごすようになる。 ●友達と一緒に一つの遊びを楽しむ姿が多くなる。
教育時間	<ul style="list-style-type: none"> ●一日の生活の流れや、身の回りの始末の仕方を体験する。 ●生活に必要な挨拶や言葉を知り、使おうとする。 ●戸外に出て春の自然に触れたり、十分に体を動かしたりして遊びを楽しむ。 ●クレヨンや粘土の使い方を知り、表現遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏の生活の仕方を知り、促されて自分でやろうとする。 ●友達との遊びの中で、園生活のルールを身に付ける。 ●運動遊びやプール遊びを通して、十分に体を動かす。 ●身近にある色を遊びに取り入れて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●秋の自然に触れ、遊びに取り入れて楽しむ。 ●身近な衣服に関心を持つ。 ●簡単なルールを守って集団遊びを楽しむ。 ●友達や保育教諭等との言葉のやり取りを楽しむ。 ●音楽に合わせて表現する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分でできることは自分で行い、自信を持って過ごす。 ●雪や氷に触れ、遊びに取り入れて楽しむ。 ●友達や保育教諭等、家族など、身近な人への関心を深め、共に過ごす楽しさを十分に味わう。 ●様々な素材に触れながら、自由につくる楽しさを味わう。
教育時間を除いた時間	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな遊びを見付け、満足するまで遊び込む。 ●信頼できる保育教諭等のそばで、安心感を持って過ごす。 ●他のクラス、学年の保育教諭等や友達の存在に気付き、会話を楽しんだり一緒に遊んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●廃材を利用して、好きなものを自由につくって楽しむ。 ●親しみのある音楽に合わせて、みんなで体を動かして楽しむ。 ●運動会の余韻に浸りながら、異年齢児と一緒に競技を楽しみ、競争する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢児と一緒にごっこ遊びを楽しみ、役を演じる楽しさを味わう。 ●5歳児の器楽合奏を見て、リズム打ちをまねして楽しむ。 ●親しみのある音楽に合わせて表現する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢児と一緒に雪遊びを楽しむ。 ●つくったものを利用して、ごっこ遊びを楽しむ。 ●友達と一緒にルールのある遊びを楽しむ。
■環境構成 ★援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■靴箱、ロッカー、いす、コップ掛けなどに個々の顔写真を貼り、自分の場所が分かるようにする。 ■生活の流れや身の回りの始末の仕方が身に付くよう、十分にゆとりを持って丁寧に知らせるようにする。 ■園周辺の草花などがある場所を把握しておく。 ★自分の場所が分かることで安心感を得られるよう、一人一人と丁寧に確認作業をする。 ★毎日同じ流れ、同じ方法で繰り返し知らせることで、生活の流れや身の回りの始末の仕方が身に付くようにする。 ★子どもが自分の目で、靴箱やロッカーなどを見付けられるよう言葉掛けを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■汗ふきタオルや脱いだ衣服の置き場所がひと目で分かるよう、かごにマークや写真を貼っておく。 ■発達段階に合った運動用具を準備しておく。 ■プールのほか、絵の具や空き容器を準備しておく。 ★身の回りのことをなるべく自分の力でできるよう、一人一人の心身の状態に合った援助をする。 ★安心してできるものから遊びに取り入れ、少しずつ、挑戦する楽しさを味わえるものを加えていく。 ★プールで体を動かすほか、ごっこ遊びに発展するような働き掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■事前にマツボックリや色ついた葉などを保育室に飾っておき、子どもたちの興味を引き出す。 ■楽しみながら行事への取り組みに参加できるようにする。 ★生活や遊びの中で、順番待ちや貸し借りの仕方を伝える。 ★子どもたちの疑問や発見を丁寧に聞き、自然物への関心が高まるようにする。また、拾い集めた自然物を使って製作活動や分類遊びに発展するよう導く。 ★繰り返しルールを伝えることで、実体験を通して身に付くようにする。 ★子どもたちの興味・関心があるものを把握し、意欲的に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基本的な生活習慣において、一人一人の状態を見直す。 ■友達と一緒に遊びを楽しめるよう、教材や用具の数を十分に検討する。 ★それぞれに合った援助をしながら、自分でできる喜びを感じられるような言葉掛けをする。 ★基本的な生活習慣が身に付くことで、他の活動にも意欲を持って取り組めるよう、気持ちを盛り上げていく。 ★遊びの中でものを一緒に使ったり、力を合わせてものをつくったりしながら、友達とのかかわりを深められるように、保育教諭等が間に入ったり、そばで見守ったりする。
子ども・子育ての支援 (保護者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者が安心して園児を園に送り出せるよう、送迎の際に一人一人の園での様子を詳しく伝えたり、おたよりや掲示物で園全体の様子が分かるようにしたりする。 ●保護者の不安をぬぐえるよう、悩みは早めに聞いて、共に解決できるよう援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入園、進級からこれまでの園児たちの心身の成長を伝え、園生活を楽しめるようになってきたことを共に喜ぶ。 ●夏祭りへの参加を呼びかけ、園児と一緒に楽しむ中で、園への親しみを感じてもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●行事への取り組みの様子やねらいを分かりやすく伝え、今行っていることが子どもたちの成長とどのように関係しているかを理解してもらおう。その上で、子どもたちの活動を家庭からもサポートしてもらおうようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活や遊びの中での教育的効果を伝え、保育教諭等がどのようなねらいを持って園児たちとのかかわっているかを分かりやすく伝える。そのことが進級へとつながっていることも伝え、進級に対する保護者の不安が期待に変わるよう援助していく。
行事	入園・進級式／お花見遠足／子どもの日の集い／	保育参観・給食試食会／七夕の集い／プール開き／夏祭り／西三区奉燈祭り	秋の遠足／運動会／おにぎり弁当遠足／クリスマス会／表現会	相撲大会／もちつき大会／お店屋さんごっこ／節分・豆まき／ひな祭り誕生会／お別れ遠足／卒園式

平成29年度 浜岡幼保園

年間指導計画 4歳児

園長	副園長	主幹	担任
----	-----	----	----

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●園生活に慣れ、喜んでいろいろな活動に取り組む、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ●全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、いろいろな遊びに興味を持ち、保育教諭等や友達とのかかわりを広げる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●遊びの経験を広げ、いろいろな方法で表現する。 ●身近な環境や自然現象に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。 ●多種多様な経験を通して、生活に必要な言葉を身に付ける。 		一年間の保育に対する自己評価
	学期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等や友達と触れ合って遊ぶ楽しさを味わう。 ●健康的な生活習慣が身に付いていく。 ●進級したことを自覚し、園生活に慣れ、安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな素材や用具を使い、感じたことや考えたことを表現する。 ●梅雨期から夏にかけての遊びを楽しむ。 ●戸外で体を動かし、ルールのある遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●共通の目的に向かって、友達と協力して取り組む楽しさを知る。 ●様々なものを通して、数、量、形などの違いに気付いて興味を持ち、集めたり分けたりする。 ●歌や合奏を友達と合わせることに楽しさを知る。 ●遊びの経験を広げ、そのイメージや思いを自分なりに表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●遊びの中で自分が思い考えたことを言葉で伝える。 ●冬から春への季節の移り変わりや自然の変化を楽しむ。 ●自分のイメージを動きや言葉などいろいろな方法で表現する。 ●健康的に過ごす習慣を身に付け、進級への期待を持って生活する。 	
園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい生活に楽しみや不安を感じ、緊張しながらも保育教諭等に親しみをもち、安心して信頼している。 ●一日を通して園生活のおおよその流れが分かり、自分でできることは自分でしようとする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友達への関心が出始め、偶発的な結び付きの中で友達とのかかわりを喜んだり、トラブルになったりする。 ●保育教諭等の提案に興味を示し、自分なりに、やってみようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全身運動が活発になり、いろいろな運動や活動を楽しみ、身の回りの事象や自然物、材料などに興味を示す。 ●興味・関心が広がり、自分なりにやろうとする。 ●友達とのかかわりが多くなる中で自己主張が盛んになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●初めての活動にも工夫しながら進んで取り組む。 ●ルールのある遊びを楽しみ、きまりを守ろうとする気持ちが芽生え、様々な出来事を自分たちで解決しようとする。 ●互いの思いを受け入れたりがまんしたりしながら、絆が深まる。 	
教育時間	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな遊びを見付け、保育教諭等や友達と体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ●園での基本的な生活の仕方を知り、排泄や衣服の着脱などを自分でしようとする。 ●遊具や用具に親しみ、安全な遊び方や扱い方を知って、持ち物の準備や後始末をできるだけ自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な動植物を観察したり触れたりすることで興味・関心を持ち、いろいろな素材や用具に親しみ、かいたりつくったりすることを楽しむ。 ●水や泥に興味を持ち、見たり触れたりすることを楽しむ。 ●簡単なルールのある遊びを楽しみ、約束を守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友達と共通のイメージを持って、必要なものを用意する。 ●クラス全員で運動遊びに取り組む。 ●いろいろな素材や自然物で製作をする。 ●見たこと、感じたことなどの経験を、様々な方法で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友達によさに気付いたり、相手を受け入れたりしながら友達と一緒に活動する。 ●冬の自然現象に興味・関心を持ち、感動したり疑問を持ったりする。 ●生活や遊びの中で、数量や図形、文字に関心を持つ。 	
教育時間を除いた時間	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間の生活の中で、友達とかかわるようになる。 ●健康で安全な環境の中で、安定して過ごし、困ったことは自分なりの方法で保育教諭等に伝えようとする。 ●食事や後片付けの仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●梅雨期や夏を健康に過ごす生活の仕方を知り、自分でできる。 ●友達とかかわりながら互いによさに気付き、認め合う。 ●したいこと、してほしいことなどを保育教諭等や友達に言葉で伝え、欲求が満たされて快適に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな遊具や用具を使い、全身を動かして遊ぶことを楽しむ。 ●共同で使う遊具や用具を友達と譲り合い、片付ける。 ●音楽に合わせて、体を動かしたり、感じたことを自由に表現したりする楽しさを味わう。 ●休息の大切さが分かり、運動や食事のあとは休息をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●工夫してかいたりつくったりして、遊びに必要なものを準備して友達と一緒に遊ぶ。 ●危険なものや箇所を知り、安全に気を付ける。 ●身の回りをきれいに保つことの気持ちよさを知る。 ●進級することが感じられる取り組みを通して、進級に期待を持ち、楽しみにする。 	
■環境構成 ★援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■持ち物の準備や後始末が自分でできるよう、備品や材料の配置、片付け場所を明確にしておく。 ■安全に過ごせるように施設内、施設外での活動を想定し、適宜、適時に対応する。 ★朗読や素話などを通して静かに過ごす環境を整え、落ち着いた話を聞く大切さを伝える。 ★一人一人を温かく受け止め、触れ合う中で安心感を与え、園生活の仕方や楽しさが分かるよう丁寧にかかわる。 ★園児が保育教諭等に安心して自分のありのままの姿を表せる状態をつくる中で、信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■自然の中で、水や光、土から泥への変化などを目で見て感じ取れるような設定をする。 ■衣服の調節ができるよう、環境を整える。 ★自ら遊びや活動に取り組めるよう、興味・関心に応じて環境を構成し、一人一人の遊びや興味の変化を把握して環境を再構成する。 ★梅雨期や夏ならではの季節を感じる生活の中、静と動のバランスを考えながら、気持ちが発散できるように配慮する。 ★水遊びでは十分水に親しませるとともに、水の危険性も伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ■園庭の整備、遊具の点検を行い、安全に遊び、体を動かしたくなる環境を整える。 ■一人一人の興味に応じて、活動への意欲がわくように、いろいろな素材や用具を十分に用意する。 ★友達と協力し、一緒に活動する楽しさが味わえるよう、交流の場をつくる。 ★寒さの中でも戸外で遊べるように、個や集団で楽しめる遊びを提案する。 ★生活の中で、ものを集めたり、分けたり、整理したりする声掛けをする。 ★一人一人の思いを聞き、言葉の正しい方を知らせ、相手の気持ちが分かるよう保育教諭等が仲立ちをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■植物の成長や芽吹きに気付く声掛けをし、春の暖かい日差しを感じられるよう戸外活動を設定する。 ■目標に向かって取り組めるよう言葉掛けを十分に行い、自ら取り組めるよう遊具や用具を準備する。 ★保育教諭等も参加し、クラスの友達同士と一緒に遊ぶ楽しさが感じられる働き掛けを行い、積極的に取り組めるような戸外活動や遊びを多く取り入れる。 ★集団遊びでは、ルールを巡るトラブルやよい気付き、アイデアが出た場面を逃さず捉え、クラス全体に投げかけて知らせ、全員で確認できるようにする。 ★園児の健康状態を把握し、温度調節や換気に努める。 	
子ども・子育ての支援 (保護者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ●園児の緊張や不安などを受け止めながら、安心して登園できるよう保護者から家庭での様子を聞き取り、理解に努める。 ●保護者に登降園時の安全について協力依頼をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●連絡ノートや登降園時を利用し園児の様子を伝え合い、安心感が持てるようかかわって信頼関係を築く。 ●内科・歯科健診や月々の身体測定の結果を知らせ、夏の病気や生活の仕方(衣服の調節・水分補給)について発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園行事の意義や考え方を理解し協力してもらうため、具体的な内容や方法について発信する。 ●作品展を通して、子どもらしい伸び伸びとした表現の大切さを伝える。 ●家庭生活でも、身近にある素材や用具を使用する機会を持ち、親子の触れ合いが深められるように発信をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣や態度、遊び方、友達関係など、園児の日常生活について発信し、成長への期待の支えとなるようかかわり、保護者と共に考えていく。 ●5歳児クラスへの期待が持てるよう、園児の成長を発信する。 	
行事	入園・進級式／お花見遠足／子どもの日の集い／親子バス遠足	保育参観・給食試食会／七夕の集い／プール開き／夏祭り／西三区奉燈祭り	秋の遠足／運動会／おにぎり弁当遠足／クリスマス会／表現会	相撲大会／もちつき大会／お店屋さんごっこ／節分・豆まき／ひな祭り誕生会／お別れ遠足／卒園式	

平成29年度 浜岡幼保園 年間指導計画 5歳児

		園長	副園長	主幹	担任
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●園生活を楽しみながら、主体的に活動し、基本的な態度や生活習慣を身に付ける。 ●友達や異年齢児とのかかわりの中で、思いやりの心が育ち、協力する態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な環境や自然事象に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、感性を豊かにし、探究心や知的好奇心を高め、様々な表現力を身に付ける。 ●保育教諭等や仲間とのかかわりの中で、相手の話をよく聞き、意見交換をする力をつける。 	小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●認定こども園こども要録の送付。 ●園児と小学校の児童とが交流する機会を持つ。 ●円滑な接続ができるよう、小学校教諭との情報交換会を実施するとともに、卒園児の様子を聞いて今後の保育の参考にする。 	一年間の保育に対する自己評価
学期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●5歳児の自覚を持ち、意欲的に園生活を送る。 ●新しい環境に慣れ、主体的にかかわると同時に、友達とのつながりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏の自然事象に興味・関心を持つ。 ●興味のあるテーマを設定し、友達と考えを出し合いながら、遊びを膨らませていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●共通の目的に向かって、友達と考えを出し合いながら協力して活動に取り組む。 ●行事を通して異年齢児との関係を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●就学への自覚や自信を持ち、意欲的に活動する。 ●社会や公共のマナーを知り、行動する。 ●冬の生活や自然の変化に興味を持つ。 	
園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●5歳児としての生活に意欲や期待を持つが、緊張や不安も見られる。 ●当番活動などに積極的に取り組む姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友達同士の遊びや考えの違いから、ぶつかり合いが見られる。 ●身近な動植物を世話し、図鑑を見て調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動遊びやゲーム遊びなど、体を使った遊びを通して、自分の意見や考えを伝えながら、友達と積極的に遊んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●就学に対する自覚が生まれ、5歳児らしい積極的な姿が見られる。 	
教育時間	<ul style="list-style-type: none"> ●自然に興味を持ち、身近な動植物を観察して、その生態や環境との関連性に興味を持つ。 ●互いの思いや考えを知り、友達との協同的な活動を楽しむ。 ●季節の歌や、体を動かすことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●夕立、入道雲、星座など夏の自然事象を観察し、想像力を膨らませ、様々な表現活動を楽しむ。 ●水遊びの危険性を理解すると同時に、友達同士でルールをつくり、様々な水遊びを存分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な遊具や用具を使い、積極的に体を動かして運動遊びを楽しむ。 ●日常生活の中で、文字や数に関心を持ち、理解を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活に必要な簡単な標識や文字、時刻や時間の配分などに興味を持ち、意識しながら活動する。 ●人の話を注意して聞き、自分の意思を正しく伝えようとする。 ●冬の行事に興味を持ち、積極的にかかわる。 	
教育時間を除いた時間	<ul style="list-style-type: none"> ●食物の役割や食事のマナーを知り、保育教諭や友達と食事を楽しむ。 ●当番活動を理解し、保育教諭等の手伝いや異年齢児の世話をする。 ●自ら安全を意識し、好きな遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●梅雨期や夏期を健康に過ごす方法を理解し、必要に応じて自ら取り組む。 ●興味を持った遊びに取り組みながらも、ゆったりとした環境で無理なく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●季節や生活の変化に気付き、自然物を取り入れた遊びを工夫して楽しむ。 ●絵本に親しみ、保育教諭等の読み聞かせを静かに聞いたり、自分でも見たりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●寒さに負けず十分に体を動かし、冬の遊びを積極的に楽しむ。 ●様々な素材や用具を適切に使い、作品づくりを楽しむ。 ●身の回りの始末や整理整頓が時間内にできる。 	
■環境構成 ★援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■春の自然に興味を持てるよう、種まきや小動物の世話ができる環境を用意し、必要な情報のための図書や用具などを準備する。 ★園児が協同的な活動を楽しむ中で助言を求めてきたときは、最小限の助言にとどめ、園児が自ら工夫する機会を奪わないよう配慮する。 ★園児が自ら伸び伸びと遊べるよう、園内外の環境を点検し、危険のないように整えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■夏の自然事象を知る上で必要な用具や図書を準備し、自ら興味を持ってかかわれる環境を準備して、自由に表現活動ができるようにする。 ■園児の要求を考慮し、興味を持った玩具や教材を準備する。 ★梅雨期や夏期を快適に過ごすための環境を整え、この時期ならではの生活の仕方が身に付くように知らせる。 ★動植物に触れる際にアレルギーや毒性のあるものに注意を払い、触れたあとには手洗いや消毒を十分にしよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■興味を持った運動遊びが十分できるよう、遊具や用具を準備する。 ■興味のある絵本を用意して、読み聞かせの時間を取る。 ★遊具や用具の安全確認はもとより、かかわろうとする園児の気持ちを大切に、体を動かすことの楽しさを伝える。 ★読み聞かせの際には、ある一定の時間集中できるように周りの環境に配慮し、園児たちの興味を引く読み方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■冬の遊びを楽しめるよう環境を整える。 ■交通ルールや時間に関する教材を準備し、自由にかかわれるようにしておく。 ★園生活の中で起こる様々な問題を、自分のこととして受け止め解決していけるよう、話し合いの場を大切にしている。 ★就学に向けての不安を受け止め、期待と自信を持って就学できるよう、気持ちの安定を図る言葉掛けをする。 ★小学校見学の機会を設定する。 	
子ども・子育ての支援 (保護者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境への不安を持つ保護者には、特に意識して園児の様子を伝え、安心できるようにしていく。 ●クラスの運営方針を伝え、一緒に子育てを楽しめるように言葉掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体調を崩しやすい時期なので、注意喚起をして、健康に過ごすための情報を発信する。 ●園児が興味を持った夏の自然事象を知らせ、園児が獲得した喜びを、保護者も共有できるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体の様々な部分を動かして、運動遊びができる身体能力が育っていることを知らせる。 ●知的興味が高まり、絵本に興味を持ち、文字を読んだり内容を理解したりする力が育っていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●就学に向けての保護者の不安に対し、小学校の様子や情報を知らせ、安心してもらおう。 ●小学校で必要になる身の回りの始末について、家庭でも確認することをすすめる。 	
行事	入園・進級式／お花見遠足／こどもの日の集い／親子遠足／陶芸教室／悠々ホーム慰問／誕生会／避難訓練／身体測定	保育参観／老人との触れ合い／七夕の日の集い／ちびっこカーニバル／夏祭り／石崎地区西三区奉燈祭り／お泊り保育／誕生会／避難訓練	能登島水族館遠足／敬老会／運動会／総合防災訓練／運動会／悠々ホーム慰問／おにぎり弁当遠足／勤労感謝慰問／りんご狩り／表現会／クリスマス会／誕生会／避難訓練	すもう大会／もちつき大会／節分の日の集い／お店屋さんごっこ／ひな祭り誕生会／親子お茶会／親子クッキング／お別れ会／お別れ遠足／総合防災訓練／避難訓練／誕生会／卒園式	